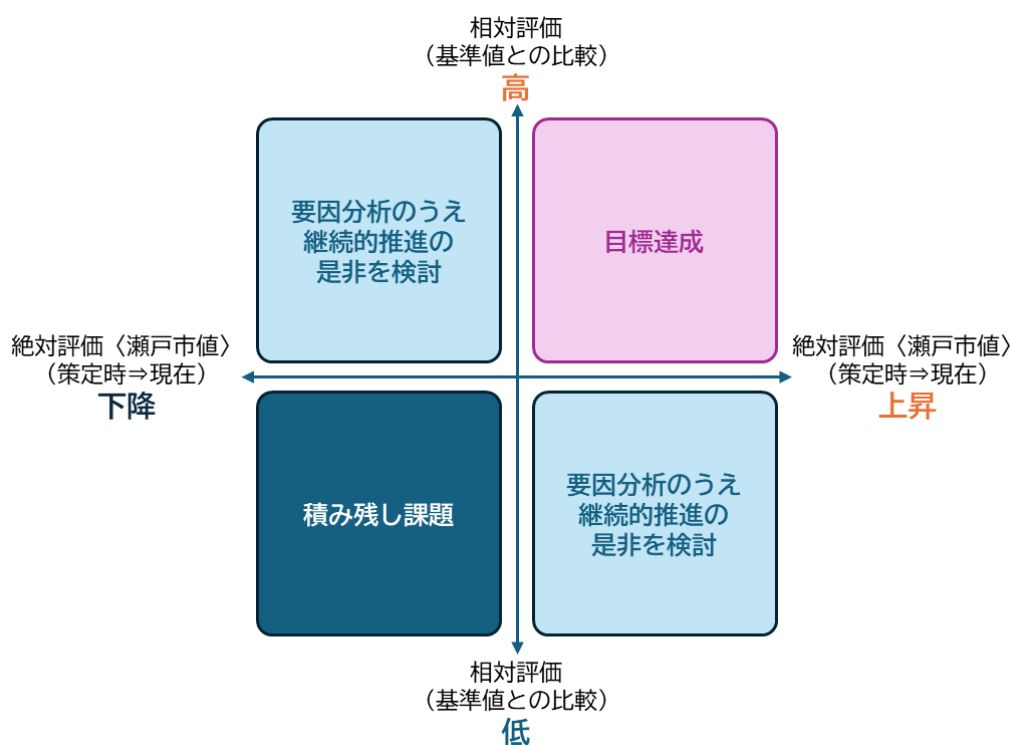


## 都市像指標の現況値から見た評価について

第6次瀬戸市総合計画は将来像の実現と3つの都市像の達成をゴールとした計画であり、現計画の総括については、個々の施策の評価を行うのではなく、将来像と都市像が目指す方向性を継続すべきか評価を行う。

具体的には、将来像と都市像に示した指標について個別で分析を行い、その継承の是非を検討する。

### 第6次瀬戸市総合計画の評価のイメージ



最新の本市数値と策定時の  
本市数値を比較し、評価

指標(★はアンケート指標)	単位	本市数値(最新)		評価	基準値(比較対象)		総合評価	コメント
		策定時	最新		最新	評価		
①製造業の元気さ(製造品出荷額等)	百万円	433,204	450,253	↓	732,306	↓	積み残し課題	
②小売業の元気さ(1人あたり小売業年間商品販売額)	円/人	815,383	686,862	↑	920,240	↓	要検討	販売額は増加しており、基準値と比較して伸びも大きい。このまま施策を継続していくことが妥当。
③働く人の付加価値を生む力(就業者1人あたり市内総生産)	千円/人	8,982	8,394	↑	10,057	↓	要検討	生産性は高まっており、基準値と比較して伸びも大きい。このまま施策を継続していくことが妥当。

最新の本市数値と最新の基準値  
(県内平均等)を比較し、評価

都市像1 活力ある地域経済と豊かな暮らしを実感できるまち

資料4

指標 (★はアンケート指標)	単位	本市数値 (最新)	本市数値		基準値(比較対象)		総合評価	コメント	※変化率 (最新/策定時)		基準値(比較対象)
			策定時	評価	最新	評価			本市数値	基準値	策定時
①製造業の元気さ (製造品出荷額等)	百万円	433,204	450,253	↓	732,306	↓	積み残し課題		0.96	1.18	622,432
②小売業の元気さ (1人あたり小売業年間商品販売額)	円/人	815,383	686,862	↑	920,240	↓	要検討	販売額は増加しており、基準値と比較して伸びも大きい。このまま施策を継続していくことが妥当。	1.19	1.11	829,152
③働く人の付加価値を生む力 (就業者1人あたり市内総生産)	千円/人	8,982	8,394	↑	10,057	↓	要検討	生産性は高まっており、基準値と比較して伸びも大きい。このまま施策を継続していくことが妥当。	1.07	1.03	9,744
④企業の稼ぐ力 (1人あたり法人市民税額)	円/人	10,485	9,495	↑	19,820	↓	要検討	税額は伸びているが、基準値と比較して伸びが小さい。稼ぐ力の増加を促す施策の検討が必要。	1.10	1.14	17,414
⑤雇用の多さ (市内事業所の従業者数)	人	46,247	50,564	↓	42,323	↑	要検討	従業者数は減少しており、基準値と比較して落ち込みが大きい。今後、さらなる人口減少が進む中、雇用創出に向けた施策の継続・拡充が必要。	0.91	0.96	44,021
⑥働く機会の多さ (有効求人倍率 (瀬戸・尾張旭管内))	倍	0.83	0.90	↓	1.04	↓	積み残し課題		0.92	0.87	1.20
⑦所得の多さ (1人あたり家計所得)	千円/人	3,463	3,362	↑	3,641	↓	要検討	所得は増加しており、基準値と比較して伸びも大きい。このまま施策を継続していくことが妥当。	1.03	1.01	3,609
⑧土地の価値 (住宅地の平均価格)	円/㎡	59,400	55,000	↑	95,361	↓	要検討	平均価格は上昇しているが、基準値と比較して伸びが小さい。土地の価値を高める施策の検討が必要。	1.08	1.14	83,984
⑨鉄道の利用 (年間の駅利用者数)	人	7,386,337	7,477,020	↓	7,477,020	↓	積み残し課題		0.99	1.00	7,477,020
⑩まちの賑わい (休日の昼間人口と人口との比)	倍	→	1.52	—	→	—	評価外	最新の数値が取得不可のため。評価外とする。	—	—	1.86
⑪企業の活力実感度(★)	%	24.5	16.2	↑	50.0	↓	要検討	実感度は上昇しているが、基準値との乖離が大きい。目標値が高すぎる可能性はあるものの、施策の継続は必要。	1.51	1.00	50.0
⑫雇用の充実実感度(★)	%	22.8	16.1	↑	50.0	↓	要検討	実感度は上昇しているが、基準値との乖離が大きい。目標値が高すぎる可能性はあるものの、施策の継続は必要。	1.42	1.00	50.0
⑬所得の向上実感度(★)	%	64.3	58.0	↑	80.0	↓	要検討	実感度は上昇しており、基準値と比較して伸びも大きい。就業者や完全失業者以外には判断のつきにくい指標であり数値が頭打ちになる可能性はあることから、施策実施状況を踏まえた検討が必要。	1.11	1.00	80.0
⑭公共交通の満足度(★)	%	34.2	32.4	↑	60.0	↓	要検討	満足度は上昇しているが、基準値との乖離が大きい。公共交通を利用しない市民にとっては施策実施効果の実感がなく数値が頭打ちになる可能性はあることから、施策実施状況を踏まえた検討が必要。	1.06	1.00	60.0
⑮自然・歴史文化の満足度(★)	%	67.6	53.0	↑	80.0	↓	要検討	満足度は上昇しているが、基準値との乖離が大きい。目標値が高く、一定の無関心層があると数値が頭打ちになる可能性はあることから、施策実施状況を踏まえた検討が必要。	1.28	1.00	80.0

☆：数値が低いほど評価が良いと考えられる指標

## 都市像2 安心して子育てができ、子どもが健やかに育つまち

指標(★はアンケート指標)	単位	本市数値(最新)	本市数値		基準値(比較対象)		総合評価	コメント	(参考)変化率		基準値(比較対象)
			策定時	評価	最新	評価			本市数値	基準値	策定時
①産まれる子どもの多さ(合計特殊出生率)	-	1.14	1.23	↓	1.29	↓	積み残し課題		0.93	0.88	1.46
②女性の働きやすさ(25~39歳の女性人口に占める有業者の割合)	%	67.9	63.6	↑	68.1	↓	要検討	割合は増加しているが、基準値と比較して伸びが小さい。基準値と同水準にあり、概ね目標達成ととらえてよい。	1.07	1.08	63.1
③子育て世代の結婚しやすさ(25~39歳の人口における有配偶率)	%	51.8	52.7	↓	52.4	↓	積み残し課題		0.98	0.96	54.6
④所得の多さ(1人あたり家計所得)	千円/人	3,463	3,362	↑	3,641	↓	要検討	所得は増加しており、基準値と比較して伸びも大きい。このまま施策を継続していくことが妥当。	1.03	1.01	3,609
⑤若い世代の住みやすさ(25~39歳の社会増減)	人	-73	-2	↓	-30	↓	積み残し課題		36.50	-2.50	12
⑥治安の良さ(人口千人あたり犯罪認知件数)☆	件/千人	4.67	7.16	↑	6.84	↑	目標達成		0.65	0.67	10.24
⑦交通安全(人口千人あたり交通事故発生件数)☆	件/千人	2.68	4.36	↑	3.28	↑	目標達成		0.61	0.55	5.93
⑧学校生活の充実(長期欠席児童・生徒数の割合)☆	%	4.32	2.28	↓	3.98	↓	積み残し課題		1.89	2.33	1.71
⑨多世代による子育て(全世帯数における3世代世帯の割合)	%	3.69	6.55	↓	3.58	↑	要検討	割合は低下しているが、基準値と比較して落ち込みが小さい。近居を反映できないため、指標の見直しが必要。	0.56	0.49	7.38
⑩子育て支援の満足度(★)	%	45.1	35.1	↑	70.0	↓	要検討	満足度は上昇しているが、基準値との乖離が大きい。目標値が高く、施策との関わりの薄い市民も少なくないため、数値が頭打ちになる可能性はあることから、施策実施状況を踏まえた検討が必要。	1.28	1.00	70.0
⑪家族の暮らしやすさ実感度(★)	%	53.8	46.4	↑	80.0	↓	要検討	実感度は上昇しているが、基準値との乖離が大きい。目標値が高く、世帯総数に占める単独世帯の割合も高いため、数値が頭打ちになる可能性はあることから、施策実施状況を踏まえた検討が必要。	1.16	1.00	80.0
⑫若い世代の居住満足度(★)	%	82.0	72.9	↑	85.0	↓	要検討	満足度は上昇しており、基準値に近い水準にある。既に満足度は高く、自宅およびその周辺環境が影響するため、数値が頭打ちになる可能性はあることから、施策実施状況を踏まえた検討が必要。	1.12	1.00	85.0
⑬教育への満足度(★)	%	77.4	70.5	↑	80.0	↓	要検討	満足度は上昇しているが、基準値に近い水準にある。既に満足度は高く、教育と無関係の市民も少なくなく、数値が頭打ちになる可能性はあることから、施策実施状況を踏まえた検討が必要。	1.10	1.00	80.0
⑭地域の子育て・教育環境満足度(★)	%	33.1	28.4	↑	60.0	↓	要検討	満足度は上昇しているが、基準値との乖離が大きい。目標値が高く、施策との関わりの薄い市民も少なくないため、数値が頭打ちになる可能性はあることから、施策実施状況を踏まえた検討が必要。	1.17	1.00	60.0

☆:数値が低いほど評価が良いと考えられる指標

## 都市像3 地域に住まう市民が自立し支え合い、笑顔あふれるまち

指標(★はアンケート指標)	単位	本市数値(最新)	本市数値		基準値(比較対象)		総合評価	コメント	(参考)変化率		基準値(比較対象)
			策定時	評価	最新	評価			本市数値	基準値	策定時
①健康と長寿(男性)(健康寿命・男性)	歳	81.0	65.8	↑	80.5	↑	目標達成		1.23	1.23	65.7
②健康と長寿(女性)(健康寿命・女性)	歳	84.6	67.2	↑	84.6	—	目標達成		1.26	1.26	67.2
③市民の医療費(1人あたり医療費)☆	円/人	400,333	319,727	↓	366,863	↓	積み残し課題		1.25	1.24	296,675
④治安の良さ(人口千人あたり犯罪認知件数)☆	件/千人	4.67	7.16	↑	6.84	↑	目標達成		0.65	0.67	10.24
⑤交通安全(人口千人あたり交通事故発生件数)☆	件/千人	2.68	4.36	↑	3.28	↑	目標達成		0.61	0.55	5.93
⑥火災の少なさ(人口一万人あたり火災発生件数)☆	件/万人	3.03	2.37	↓	2.57	↓	積み残し課題		1.28	0.95	2.70
⑦高齢者の活躍(65歳以上の就業率)	%	23.95	21.70	↑	25.37	↓	要検討	就業率は増加しているが、基準値と比較して同程度の伸びにとどまる。高齢者のニーズ・活躍の機会を踏まえた施策の検討が必要。	1.10	1.09	23.30
⑧障害者福祉の充実(1人あたり障害福祉サービス等・障害児通所支援等事業所数)	箇所/万人	11.9	9.8	↑	11.3	↑	目標達成		1.21	1.79	6.3
⑨地域のつながり(自治会の加入率)	%	67.2	77.9	↓	73.3	↓	積み残し課題		0.86	0.93	78.4
⑩心と健康の充実度(★)	%	49.5	27.4	↑	60.0	↓	要検討	充実度は大きく上昇しているが、基準値との乖離があり、施策の継続は必要。	1.81	1.00	60.0
⑪都市の安全実感度(★)	%	49.5	34.9	↑	60.0	↓	要検討	実感度は上昇しているが、基準値との乖離があり、全国的な風水害や災害の影響が出やすい指標であるものの、施策の継続は必要。	1.42	1.00	60.0
⑫地域の支え合い実感度(★)	%	36.0	42.7	↓	70.0	↓	積み残し課題		0.84	1.00	70.0
⑬自立した暮らし実感度(★)	%	64.3	58.0	↑	80.0	↓	要検討	実感度は上昇しているが、基準値との乖離があり、施策の継続は必要。	1.11	1.00	80.0
⑭交流と社会参画の満足度(★)	%	25.7	27.0	↓	60.0	↓	積み残し課題		0.95	1.00	60.0

☆：数値が低いほど評価が良いと考えられる指標